

NPO法人 子育て応援ナビぽっかぽか

プラス

ぽっかぽか通信



第23号 平成26年9月22日 発行
出張ひろば・ぽっかぽかプラス
〒710-0813 倉敷市寿町9-2
TEL (086)441-5660 <木・10:00-15:00>

10月14日(火)は、幼稚園の振替休業日の為、ぽっかぽかプラスを開所します！ぜひ遊びに来て下さいね～♪

午前9時時点で倉敷地域に何らかの気象警報が発令されている場合は、ひろばはお休みとさせていただきます。

10月2日(木)

10月16日(木)

10時から15時まで

10時から15時まで

10月9(木)

10月23日(木)

10時から15時まで

10時から15時まで

10月14日(火)

きくちゃん。

10時から15時まで

10月30日(木)

10時から15時まで

10/23(木)は、きくちゃんが来てくれるよ！相談したいことがある人は、ぜひ来て下さいね



ひろばに専用駐車場はありません。近隣の有料駐車場を御利用下さい。ひろば周辺の駐車場はすべて月極駐車場ですので、絶対に駐車はしないで下さい。

11時30分から13時は、ランチタイム！お弁当を持ってきて皆で食べましょう♪

アリオ倉敷

なんぱんぱん
平野商店

JR倉敷駅

まつだ
パーキング

→ 寿町踏切へ



「子育てプラス」

人間にとって、もっとも大切な価値ある仕事や営みは、次の世代に素晴らしい贈り物を残していくことです。今の時代、美しい緑や水や空気、また優れた生活用品や便利な発明品などを、同時代の人々のためばかりでなく、後世を生きる人たちに残していくことは、なかなか私たちにできるものではないと思います。けれども、それ以上に意味や価値のある日々の営みは、次世代を生きる子どもたちを、健全に生み育てていくことで、このことを日常の習慣的な心掛けによって、できることだと思います。長年、子どもの精神科医として働いてきて、しみじみ思い、感じることもあります。それは、自分が困り苦しんでいるときほど、自分自身の気持ちに寄り添ってくれる親を、子どもは強く強く求めている、ということです。この気持ちや感情は、保育園や幼稚園、そして学校の教師にも求めているものですが、なにより親にこそ、強く求めているのです。私が、世の親たちに第一義的に期待したいことがあります。それは、子どもにとっての「保護者」の役割を全うしていただくことです。けっして「教育者」の真似をするのではありません。教師や医師といった、みんなから「先生」と呼ばれる仕事をしている母親がいます。職場では「先生」と言われ、帰宅すると「お母さん」と呼ばれる人々たちです。大学病院の小児科に、非常勤の児童精神科医として働いていたころ、休息の時間に、医局などで、女医さんたちと雑談を楽しみました。そして私はいつも、目の前の女医さんたちに、病院で「先生」と呼ばれている雰囲気のまま帰宅するのではなく、「ママ」とか「お母さん」と呼ばれるのにふさわしい気持ちをもって、お子さんの所に帰ってやっってくださいと、よく話したものです。子どもが求めているのは教育者ではなく、保護者なのですから、と。

※ 響き合う心より



児童精神科医 佐々木 正美先生

10月は日本中の神様が出雲に集まり、諸国から神様がいなくなる「神無月」です。家運隆盛・商売繁盛の福の神である恵比寿様だけは、神々の留守を守るため諸国に残りました。ひとり残った恵比寿様をなぐさめたのが「えびす講」の始まりといわれます。「えびす」は、いわゆる七福神の一神で、福德を授ける商売繁盛の神として知られています。えびす講では、商家などで親戚や顧客を招き、床の間に恵比寿様の掛け軸をかけ、鯛(たい)、お神酒(みき)、お餅、柿、栗などを供えて酒宴を開きます。